

授業科目 社会保障制度論

【担当教員名】 横山和彦	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【概要及び学習目標】				
【概要】 社会保障は、体制維持の目的を果たすため制度体系を構築している。本講義は、社会保障制度の原理と仕組みを総括的に教授することに目的をおく。社会保障制度を全体的に分析するために総論と、社会保障制度ごとの各論とを設ける。総論は、現代資本主義社会における社会保障制度体系を明らかにするものである。第一に、貧困原因と社会保障制度との対応関係を解く。第二に、適用対象を考える。第三に、経費負担をとりあげる。そして第四に、給付にふれる。各論は、社会保障制度体系を構成する各社会保障制度論である。現在の日本で重要度の高い医療保険と年金保険をとりあげる。				
【学習の目標】 これまでの社会保障論は、ほとんどが社会保障制度論であった。それも逐条解釈的なものである。講義は、現代資本主義社会の歴史的産物で、体制維持策である社会保障制度の基本的枠組みを理解することを目標とする。				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	序章 社会保障制度研究の課題と方法			講義
2～3	第1章 社会保障の形成過程			
4～5	第2章 社会保障の制度体系			
6～7	第3章 貧困原因と前提条件			
7	第4章 適用			
8	第5章 経費			
9～10	第6章 給付			
11～12	第7章 医療保険			
13～14	第8章 年金保険			
【評価方法】 学期末試験による				
【履修上の留意点】				

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
参考文献	『社会保障論』	小山路男・佐口卓編	有斐閣	1968年
	『社会保障論』	横山和彦	有斐閣	1978年(本学図書館所蔵)
	『福祉国家』(全6巻)	東京大学社会科学研究所編	東京大学出版会	1984年～1985年
	『転換期の福祉国家』(全2巻)	東京大学社会科学研究所編	東京大学出版会	1991年